第6回九州森林フォーラム

平成 18 年 11 月 10 日(金)~ 11 日(土) 九州大学箱崎キャンパス国際ホール



11月10日 (金)

14:00~ 木造住宅現地見学会

10:15~ 基調対談

<対談者>

18:30~ 懇親会

(三井アーバンホテル)

野池政宏 氏 (住まいと環境社 代表)

三浦祐成 氏 (「新健ハウジング」編集長)

野池政宏

住まいと環境社代表。岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師。岡山大学理学部物理学科卒。 「住まいと環境」をテーマに研究調査、建材の販売、床下管理、家づくりグループやNPO的な団 体運営など、幅広い活動を行っている。

三浦祐成

タブロイド版住宅専門紙「新健ハウジング」(月3回発行)編集長。 消費者のトレンドや地域のつくり手の事例、声や視点、注目技術・建材、自然素材、木材などを テーマに専門家向けの情報提供を行っている。

[主催] NPO 法人九州森林ネットワーク・九州大学(予定)・新健新聞社(予定)

[共催] 九州大学森林資源科学部門

[後援] 大分県・熊本県・宮崎県・福岡県・福岡市・小国町・諸塚村・九州大学大学院農学研究院

(最寄り駅) 地下鉄貝塚駅から徒歩10分 案内地図 http://www.math.kyushu-u.ac.jp/Kato60/C_map.html

[問い合わせ] NP0法人九州森林ネットワーク事務局 〒877-0311 大分県日田市上津江町川原2810-1 TEL 0973-55-2656 FAX 0973-55-2323 E-mail info@try-wood.com URL http://www.geocities.jp/shinrin9net/

九州大学箱崎キャンパス国際ホール

13:00~ パネルディスカッション

<コーディネーター>

西村敏彦 氏 (西村工務店)

<パネリスト>

野池政宏 氏 (住まいと環境社 代表)

三浦祐成 氏 (「新健ハウジング」編集長)

村瀬安英 氏 (九州大学教授·木材工学専門)

川崎薫 氏 (建築構造設計士)

永井修文 氏 (アトリエN建築工房)

第6回森林フォーラムin福岡のお知らせ

開催日:平成18年11月10日(金)~11日(土) 会 場:九州大学 国際ホール(福岡市東区箱崎)ほか

テーマ:「国産材積極活用のリアリズム

~ 持続可能な木の家づくりのために~」

「木の家づくり」がブームといわれ、建築雑誌には「木の家」「国産材」「近くの山の木」などの文字が踊っています。しかし、現実の木材自給率や国産材の供給量を見てみると、さほど変化していません。「木の家づくり」ブームでも国産材の供給量を増やせない、山が潤わない問題点は何だろうか?

「国産材を使った家」に「明らかなメリット」があれば、「住まい手」に「国産材でなければダメ」という意識が生まれ、国産材の取り合いになるハズです・・・。シカシ・・・。

国産材需要の底上げのためには、以下のシステム構築が必要です。 国産材ならではの価値を作り出す努力

森林資源を徹底的にかつ多段階に使い尽くすカスケード利用が 前提の総合的な森林経営

これが「ビジネス」となる「出口」をつくり「山」と「町」を結ぶ業として成り立つこと作り手が国産材をもっと使うようになるためには「(建築)用材として極める」ということです。作り手が含水率や強度、色味について「国産材ならではの価値」を追求して、こういう品質の材が必要なんだということを「山」に要求し、山側はそれに応えて「用材として極める」ということです。同時に、高品質の材にはこれだけのコストがかかりますと、作り手に伝えてゆく必要が出てきます。間伐材や曲がり材、台風被害材なども含めて、無垢材・集成材・バイオマスなど木材利用を単体で考えず、「出口」を確保した上で相乗効果を考えて「ビジネス」として成立させるということです。

「山」だけにわが国の森林育成や保全を任せておける状況にはありません。「山」から「家」(=「町」)までに関わるすべてものが、現状を量的にとらえ、目標を明確にし、狭い選択肢に止まらない多様な展開が必要です。ともすればこれまでの「地域材住宅運動」は「情緒主義」にたよりすぎ、「甘え」や「もたれあい」を生むこともありました。「地域材住宅」を次のステージにステップアップさせるには、森林の環境的意義を捉えながらも国産材利用を「業」として成立させていく決意・発想・計画に基づいたシステムづくりが必要だと考えます。単に「環境のため」と情緒主義に唱えるだけではなく、その「業」を責任をもって前に進めてゆくに、林家・製材・流通・設計者・工務店がひとつのシステムをつくることが求められます。

第6回フォーラムでは、これらの課題をふまえ、国産材積極活用のリアリズムをテーマに「地域材住宅」事情に詳しい<u>野池政宏</u>氏(住まいと環境社・代表)と<u>三浦祐成</u>氏(「新建ハウジング」・編集長)のお二人の基調対談と、九州大学村瀬教授、建築構造設計士・川崎薫氏、建築家・永井修文氏を交えて、持続可能な「木の家」造りの方向性を大いに議論したいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。

主 催:NPO 法人九州森林ネットワーク 共 催:新建ハウジング社

宿 泊:三井アーバンホテル福岡

参加費 フォーラム参加費 1,000円(宿泊・交流会費別途)

プログラム 10日(金)14時 現地見学会(JR二日市駅集合)

18時 交流会(三井アーバンホテル福岡)

11日(土)総会・フォーラム(九州大学 国際ホール(福岡市東区箱崎)) お問い合わせ・お申し込み

N P O 九州森林ネットワーク事務局(㈱トライウッド内) 0 9 7 3 - 5 5 - 2 6 5 6



